

6か月生の学びも止めない

研修センターでは今年度、コロナ禍の中でも「教職員の学びを止めない」を合言葉に、Online Learning や EdCafe' などを開催してきました。その中で、これまでは3か月長期研修生の研修期間中のみ実施していましたが、所長、次長、各課長等による講義「長期研修ゼミナール」を、6か月長期研修生の研修期間にも計6回、実施することになりました。

今回の長研だよりから3回にわたり、新設したゼミナールの様子を紹介します。

「様々な価値から判断できる」児童の育成を



3月9日（火）に実施されました猪瀬所長の講義は、日本の文化や各国の情勢などを含めた、長期研修生の研究分野である道徳についてのお話で、長期研修生に問いかけながらの40分となりました。

長期研修生からは、「一つの場面に対して、どのように行動すればよいかの『正解』を与えるのではなく、児童が様々な道徳的価値の中から判断し行動できる資質・能力を身に付けることが大切だと、改めて理解することができた。」との感想が聞かれました。

教職員に共通する「最上位目標」とは

猪瀬所長と同日に実施されました櫻井教科教育課長の講義は、長期研修の意義を例に、手段や取組の成功に主眼を置くのではなく、目的は何かを常に意識して取り組むことの大切さを、お話しいただきました。

長期研修生からは、「教師にとっての『最上位目標は』子供たちの資質・能力の向上であり、最上位目標の達成のために、教師は柔軟に『手段』を考え、教育活動に取り組むことが大切だと感じた」との感想が聞かれました。



